

ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2023年4月)

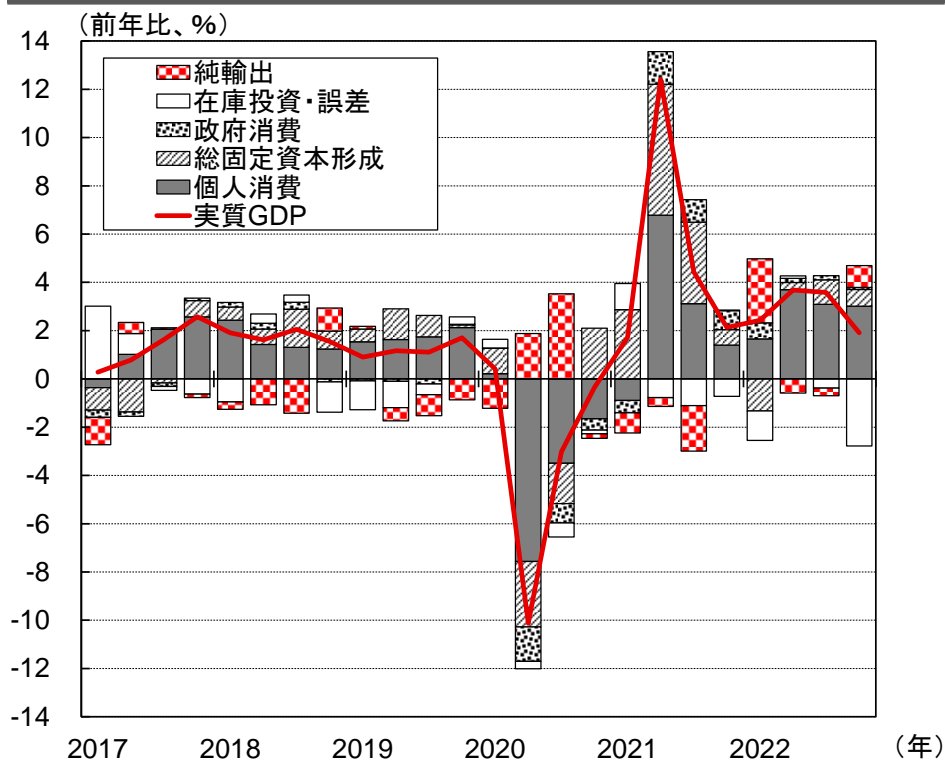
2023年4月27日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. ブラジル (1) 景気概況

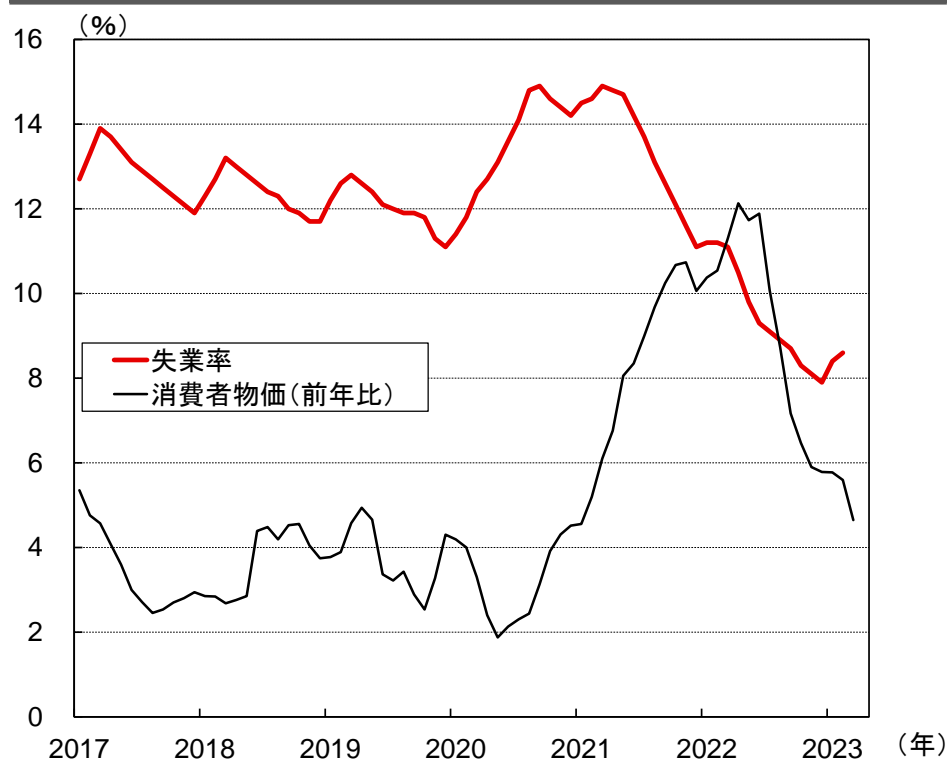
- 2022年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+1.9%と前期から減速。需要項目別の寄与度では、個人消費(同+3.0%ポイント)と純輸出(同+0.9%ポイント)がプラスに寄与した一方、総固定資本形成(同+0.7%ポイント)がプラス幅を縮小させたほか、在庫投資・誤差(同▲2.8%ポイント)のマイナス幅が拡大。
- 2月の失業率は8.6%と、2ヵ月連続で上昇するも依然低水準。
- 3月の消費者物価上昇率は前年比+4.7%と、エネルギー価格の下落により減速。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

失業率と消費者物価上昇率の推移

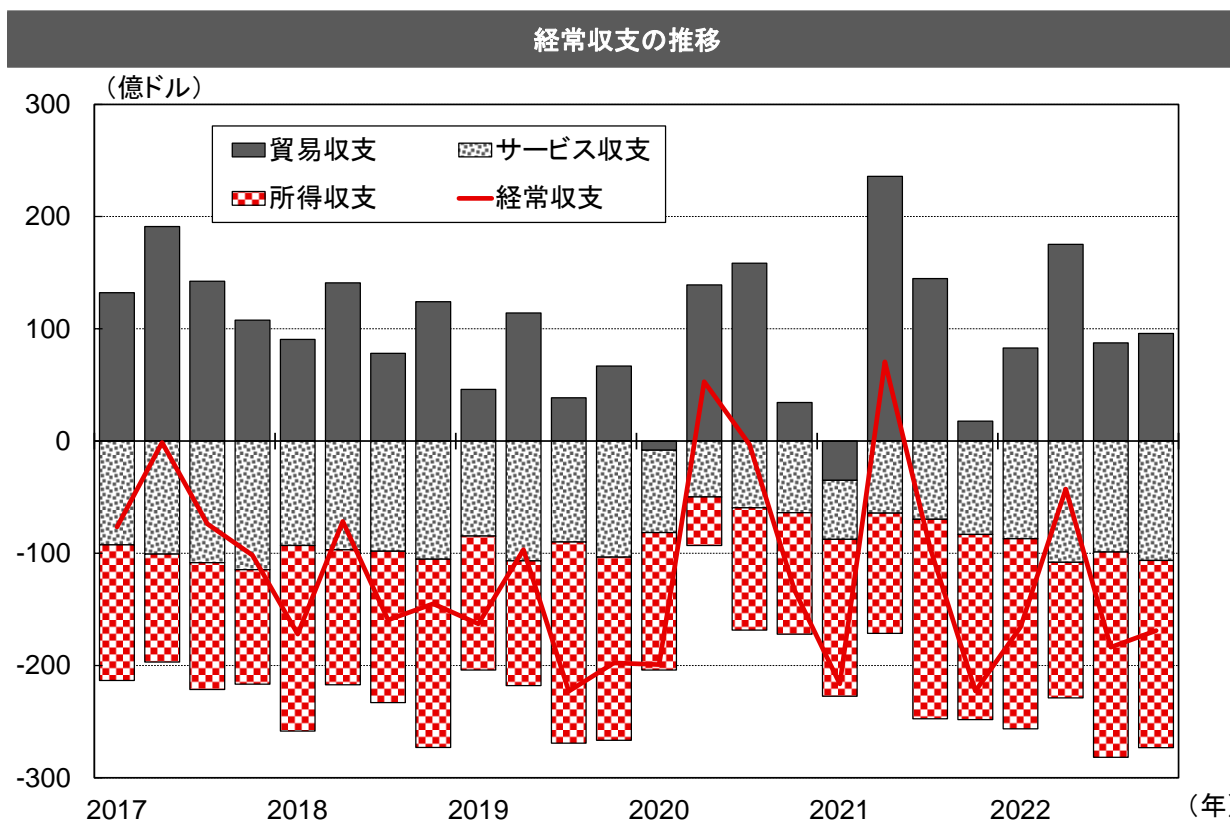


(注)『失業率』は未季節調整値。

(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (2) 経常収支

- 2022年10-12月期の経常収支は▲169億ドルと、前年同期の▲223億ドルから赤字幅を縮小。
- 内訳をみると、貿易収支が96億ドル(前年同期比+78億ドル)と黒字幅を拡大。一方、所得収支は▲167億ドル(同▲2億ドル)、サービス収支は▲106億ドル(同▲23億ドル)と赤字推移。

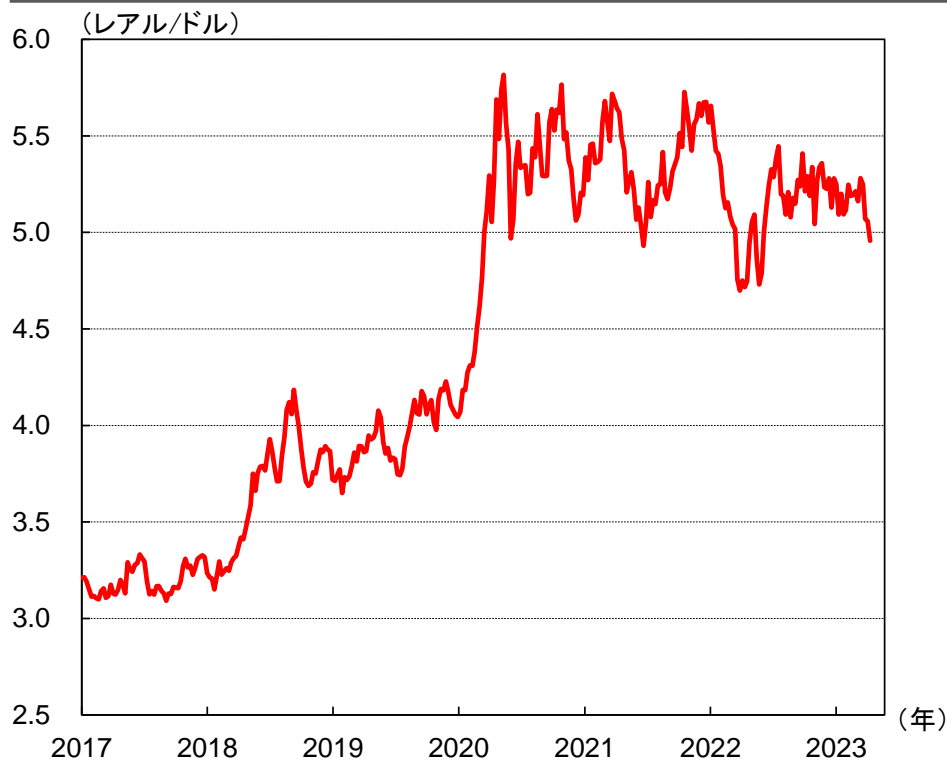


(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

1. ブラジル (3) 金融市場

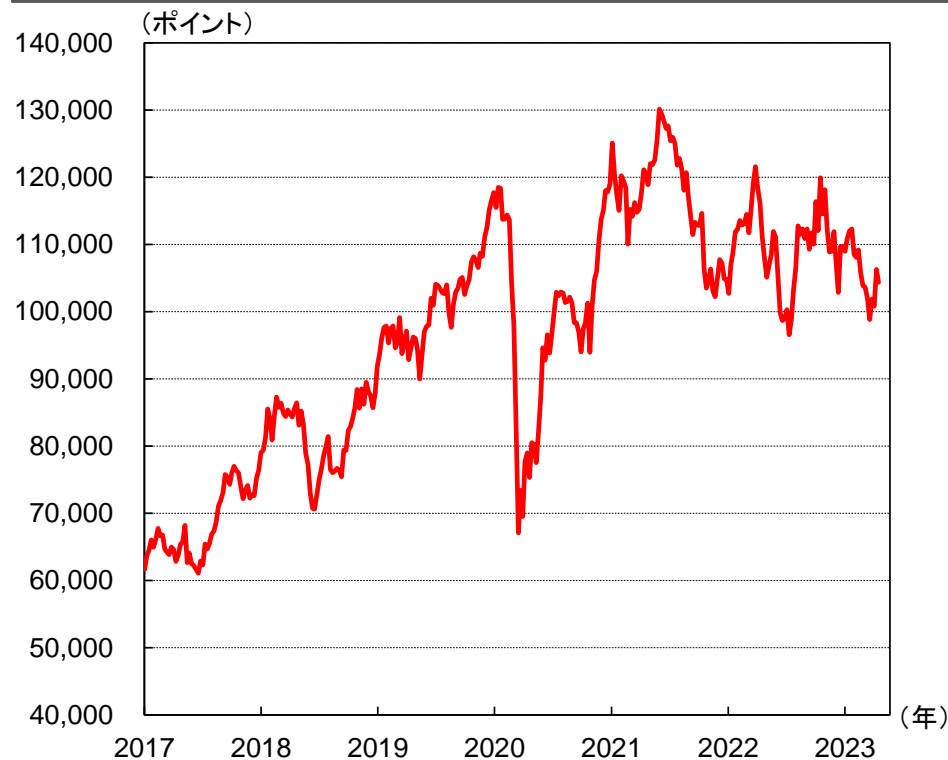
- ブラジルレアルの対ドル相場は、ブラジル中銀が3月の金融政策会合で政策金利を据え置くなか、足元1ドル=4.9レアル程度で推移。
- 株価(ボブスパ指数)は、米国発の金融不安などを受け一時100,000ポイントを割り込んだが、足元は106,000ポイント前後まで持ち直し。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボブスパ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

1. ブラジル (4) 経済・金融概況

ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/1-3	4-6	7-9	10-12	22/12	23/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲3.3)	(5.0)	(2.9)	(2.4)	(3.7)	(3.6)	(1.9)				
経済活動指数○	132.98	139.15	142.85	141.10	142.81	145.07	142.43	142.34	142.28	—	—
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲4.7)	(4.2)	(▲0.7)	(1.4)	(0.1)	(▲0.8)	(0.1)	(▲0.1)	(▲0.4)	(▲0.2)	—
設備稼働率○	(76.8)	(81.0)	(80.5)	(81.1)	(80.7)	(80.2)	(79.8)	(79.6)	(79.5)	(79.3)	—
小売売上高(前年比、%)	(1.1)	(2.2)	(1.1)	(1.6)	(1.4)	(▲0.2)	(1.5)	(0.4)	(2.6)	(0.0)	—
自動車国内販売台数(千台)	2,058	2,120	2,104	406	512	585	602	217	143	130	199
失業率(%)	(13.5)	(13.5)	(9.5)	(11.2)	(9.9)	(8.9)	(8.1)	(7.9)	(8.4)	(8.6)	—
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(3.2)	(8.3)	(9.3)	(10.7)	(11.9)	(8.7)	(6.1)	(5.8)	(5.8)	(5.6)	(4.7)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(16.2)	(37.0)	(11.2)	(18.0)	(12.5)	(9.1)	(5.8)	(5.3)	(3.0)	(0.4)	(▲1.7)
輸出(FOB)(億ドル)	2,092	2,808	3,350	734	923	916	830	271	231	216	—
(前年比、%)	(▲5.4)	(34.2)	(19.3)	(30.7)	(12.8)	(17.8)	(21.6)	(9.7)	(15.5)	(▲9.0)	—
輸入(FOB)(億ドル)	1,588	2,194	2,726	651	748	829	734	241	222	191	—
(前年比、%)	(▲14.6)	(38.2)	(24.2)	(9.2)	(28.4)	(31.0)	(10.4)	(10.2)	(4.0)	(▲5.4)	—
貿易収支(億ドル)	504	614	624	83	175	87	96	29	9	25	—
経常収支(億ドル)	▲282	▲464	▲561	▲166	▲43	▲184	▲169	▲111	▲91	▲28	—
直接投資ネット流入(億ドル)	378	464	906	228	203	281	194	56	69	65	—
外貨準備高(億ドル)◎	3,320	3,094	3,075	3,061	3,111	2,800	2,719	2,719	2,857	2,777	2,837
ベースマネー(億リアル)◎	4,315	4,092	4,197	3,859	4,072	3,934	4,197	4,197	4,135	4,036	4,133
政策金利(Seric Target rate)◎	(2.00)	(9.25)	(13.75)	(11.75)	(13.25)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.75)	(13.75)
対米ドル為替相場◎	5.194	5.570	5.280	4.752	5.229	5.409	5.280	5.280	5.091	5.221	5.070
株価指数(ボベスパ指数)◎	119,017	104,822	109,735	120,010	98,542	110,037	109,735	109,735	113,431	104,932	101,882

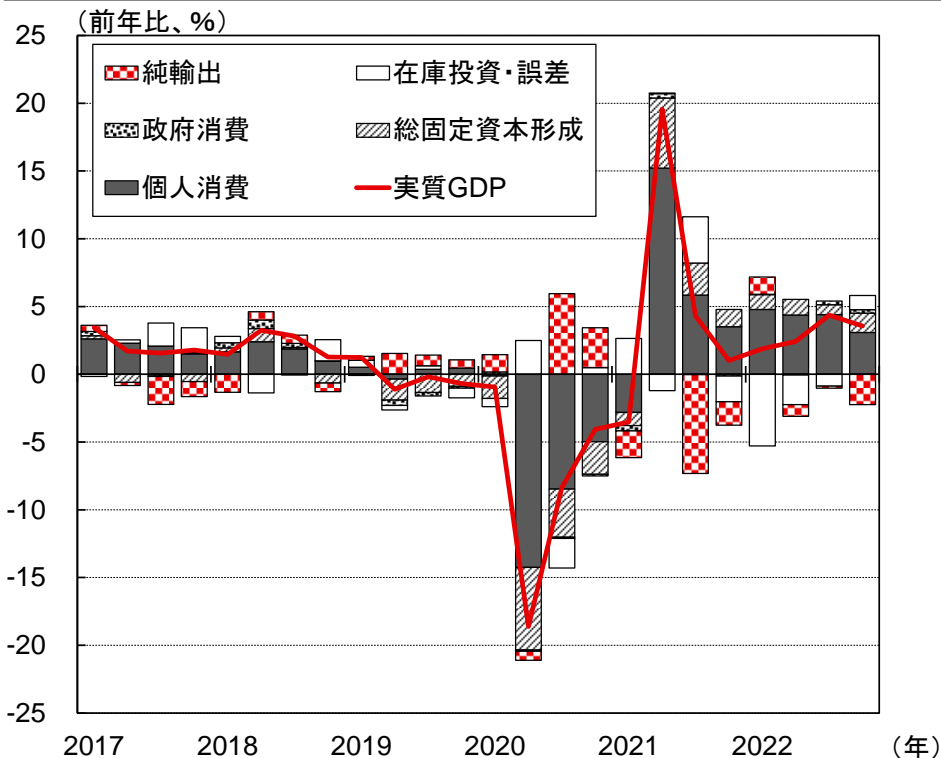
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料) ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

2. メキシコ (1) 景気概況

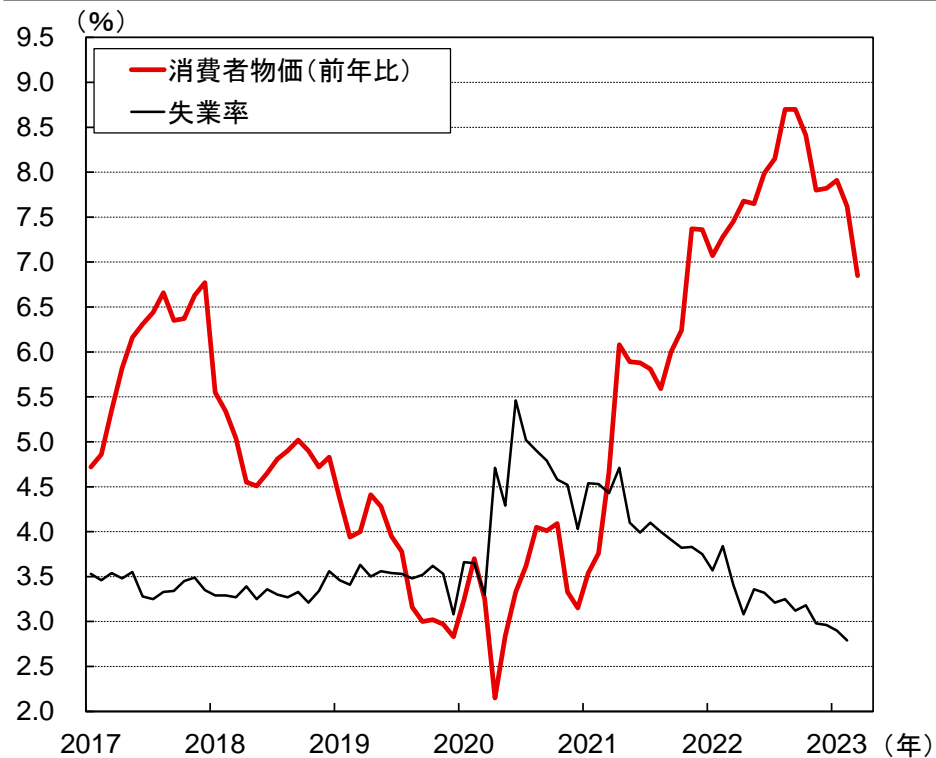
- 2022年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+3.6%と前期から小幅に減速。需要項目別の寄与度をみると、総固定資本形成が同+1.4%ポイントと前期(同+0.7%ポイント)からプラス幅を拡大させたものの、個人消費が同+3.1%ポイントと前期(同+4.4%ポイント)からプラス幅を縮小させたほか、純輸出が同▲2.2%ポイントと前期(同▲0.2%ポイント)からマイナス幅を拡大。
- 2月の失業率は2.8%と、新型コロナウイルス感染拡大前を下回る水準で推移。
- 消費者物価上昇率は、メキシコ銀行の定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)の上限を大きく超過しているものの、昨年9月の前年比+8.7%をピークに鈍化が継続。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

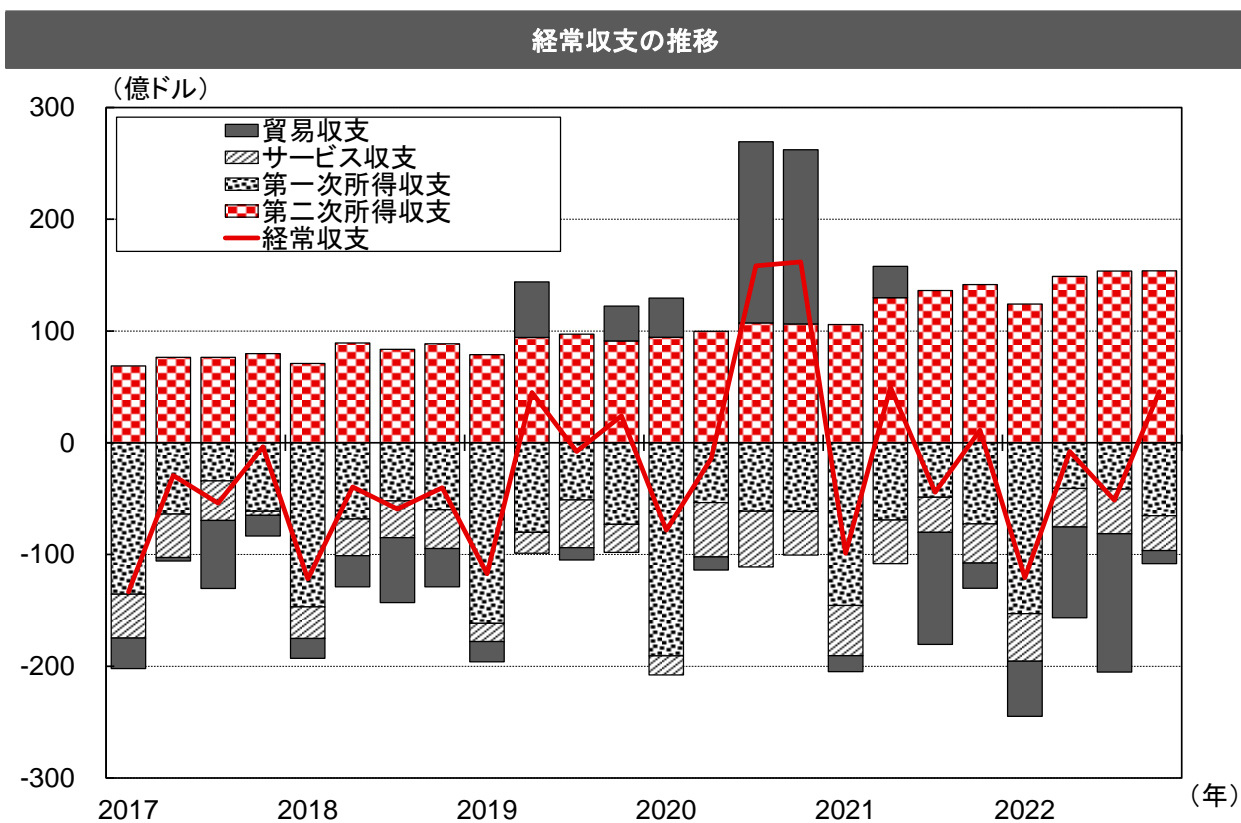
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (2) 経常収支

- 2022年10-12月期の経常収支は46億ドル(前年同期比+34億ドル)と、黒字幅を拡大。
- 内訳をみると、第二次所得収支が在米メキシコ人からの郷里送金増加により154億ドル(同+12億ドル)と黒字幅を拡大させたほか、貿易収支は輸出増加に伴い▲12億ドル、サービス収支も▲31億ドルと赤字幅を縮小。

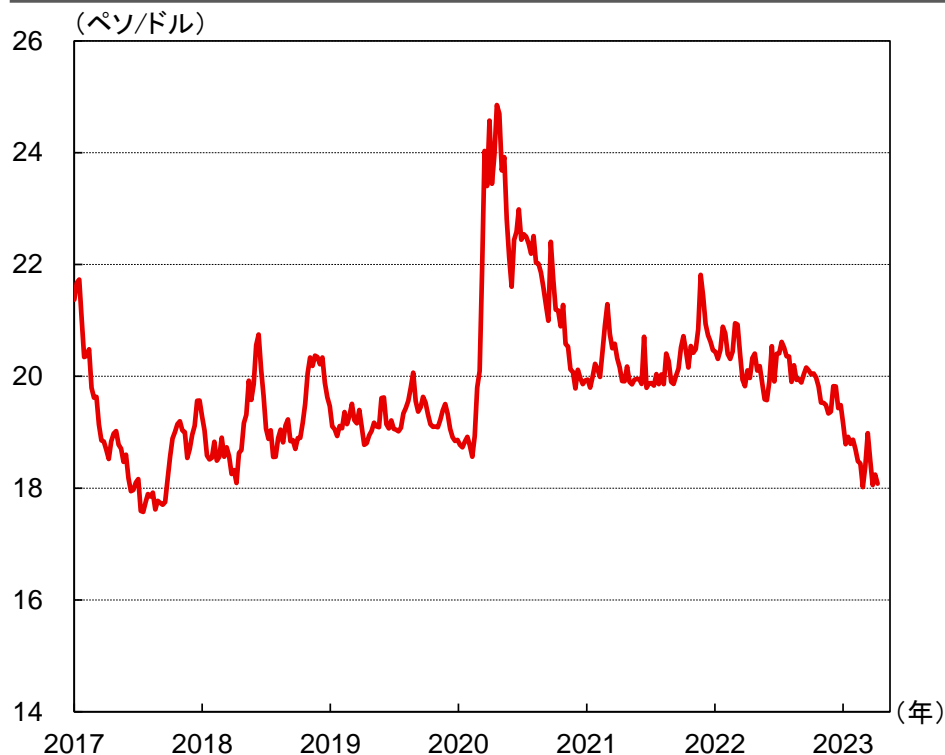


(資料)メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

2. メキシコ (3) 金融市場

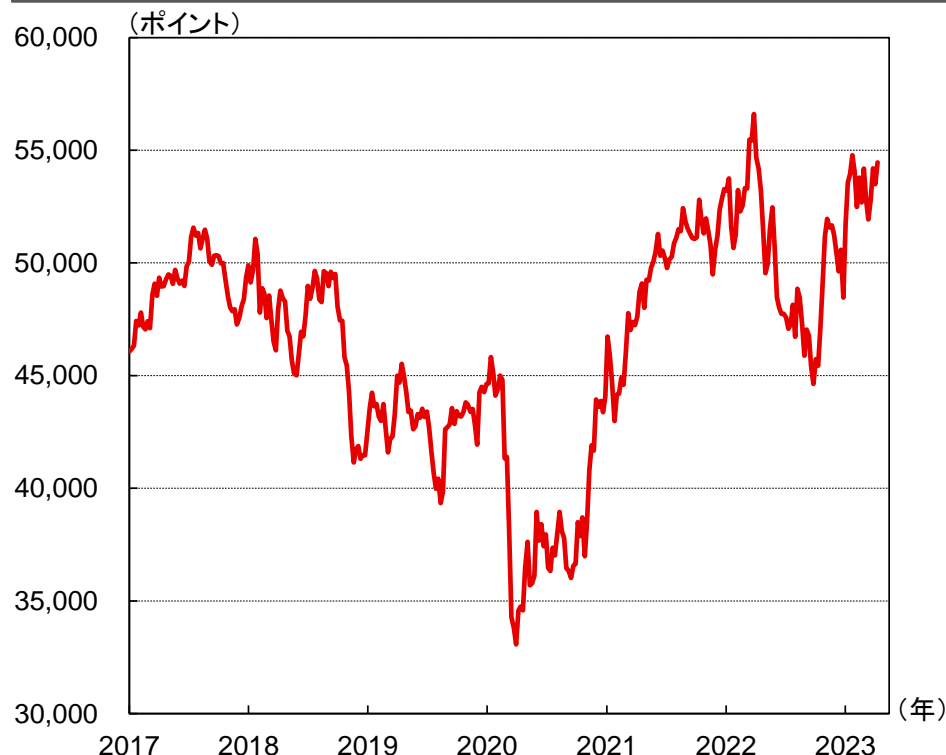
- メキシコペソの対ドル相場は小幅上昇し、1ドル＝18ペソ近辺で推移。メキシコ銀行は政策金利について、2月に0.5%ポイント、3月に0.25%ポイントの引き上げを決定。
- 株価(ボルサ指数)は昨年10月以降、FRBの利上げペース減速観測や中国のゼロコロナ政策解除に対する期待等を背景に、振れを伴いながら上昇基調を辿るも、足元では世界経済減速への懸念もあり54,000ポイント前後で推移。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

2. メキシコ (4) 経済・金融概況

メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/1-3	4-6	7-9	10-12	22/12	23/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲8.0)	(4.7)	(3.1)	(1.9)	(2.4)	(4.4)	(3.6)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(▲9.6)	(5.6)	(3.3)	(1.3)	(0.8)	(0.4)	(0.8)	(0.7)	(▲0.0)	—	—
自動車生産台数(千台)	3,046	3,028	3,308	849	812	850	797	240	280	296	346
自動車販売台数(千台)	949	924	897	216	242	187	252	121	94	102	119
原油産出量(千バレル/日)*	1,912	1,926	1,944	1,946	1,925	1,950	1,953	1,950	2,041	2,033	—
(前年比、%)	(▲0.4)	(0.7)	(0.9)	(1.9)	(▲0.4)	(1.6)	(0.6)	(0.8)	(4.2)	(5.6)	—
原油輸出価格(米ドル/バレル)	36.1	65.6	88.9	88.8	104.1	87.4	75.4	69.8	67.5	67.1	—
失業率(%)○	(4.4)	(4.1)	(3.3)	(3.6)	(3.3)	(3.2)	(3.0)	(3.0)	(2.9)	(2.8)	—
消費者物価上昇率(前年比、%)	(3.4)	(5.7)	(7.9)	(7.3)	(7.8)	(8.5)	(8.0)	(7.8)	(7.9)	(7.6)	(6.8)
輸出(FOB)(億ドル)	4,172	4,948	5,782	1,321	1,487	1,495	1,479	493	426	449	—
(前年比、%)	(▲9.4)	(18.6)	(16.9)	(17.9)	(19.5)	(21.4)	(9.4)	(3.4)	(25.6)	(▲2.8)	—
輸入(CIF)(億ドル)	3,830	5,057	6,046	1,369	1,568	1,619	1,490	483	467	468	—
(前年比、%)	(▲15.9)	(32.0)	(19.6)	(20.8)	(28.9)	(21.5)	(8.4)	(2.6)	(16.3)	(4.1)	—
経常収支(億ドル)	228	▲82	▲134	▲120.7	▲7.8	▲51.5	45.8				
資本収支(億ドル)	▲0	▲0	▲1	▲0.1	▲0.0	▲0.5	▲0.1				
対外準備(億ドル)◎	1,957	2,024	1,991	2,008	1,985	1,969	1,991	1,991	2,010	2,002	2,023
ベースマネー(億ペソ)◎	21,182	24,408	27,000	25,118	24,552	24,810	27,000	27,000	26,633	26,403	26,812
政策金利◎	(4.25)	(5.50)	(10.50)	(6.50)	(7.75)	(9.25)	(10.50)	(10.50)	(10.50)	(11.00)	(11.25)
対米ドル為替相場◎	19.93	20.47	19.49	19.94	20.18	20.11	19.49	19.49	18.80	18.33	18.06
株価指数(ボルサ指数)◎	44,067	53,272	48,464	56,539	47,524	44,627	48,464	48,464	54,564	52,758	54,199

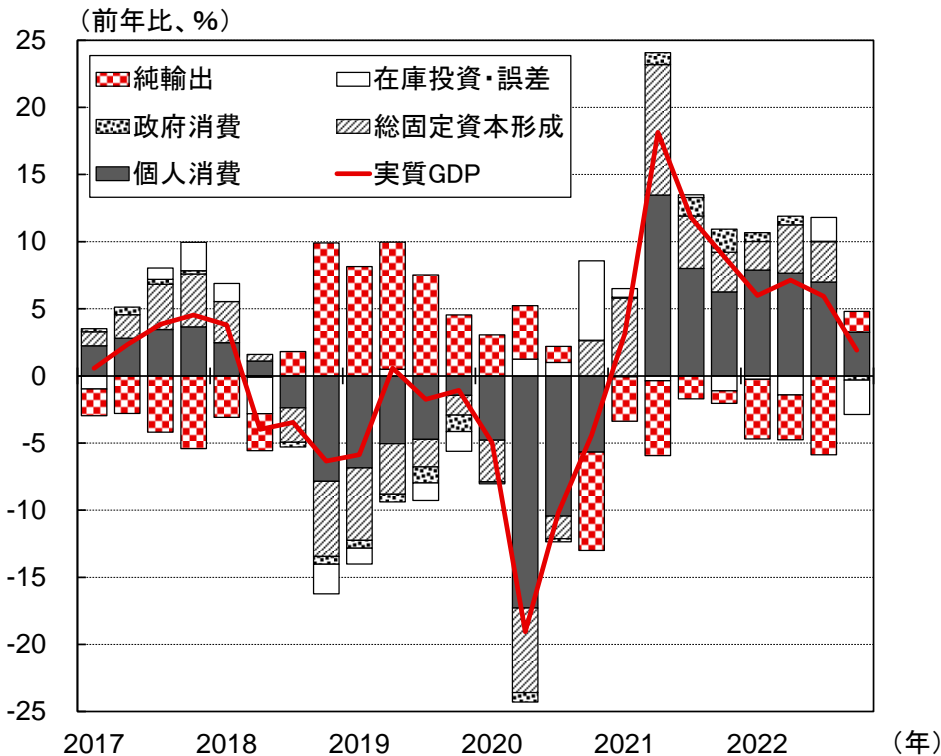
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEX、Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (1) 景気概況

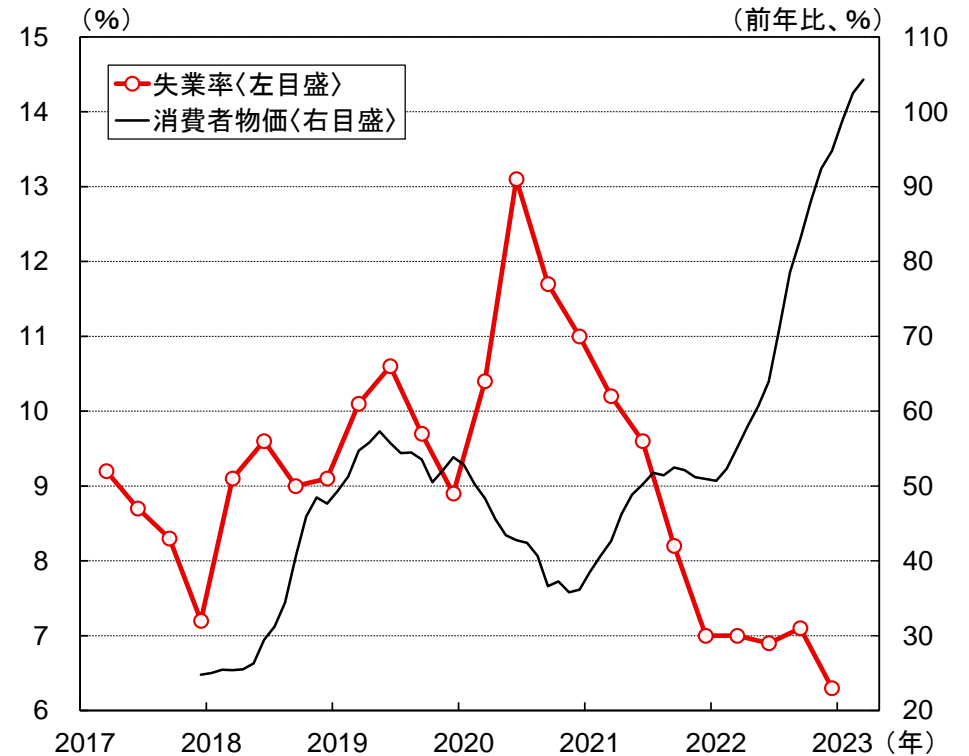
- 2022年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+1.9%と前期から減速。需要項目別の寄与度では、輸入の減少により純輸出(同+1.5%ポイント)はプラスに転じたが、個人消費(同+3.3%ポイント)のプラス幅が縮小したほか、総固定資本形成の寄与度は横這いに止まった。
- 3月の消費者物価上昇率は、食料品や燃料の価格高騰とアルゼンチンペソの下落を背景に、前年比+104.3%と伸びが加速。
- 2022年10-12月期の失業率は6.3%と、新型コロナウイルス感染拡大前の水準を下回っていた前期からさらに低下。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

失業率と消費者物価上昇率の推移

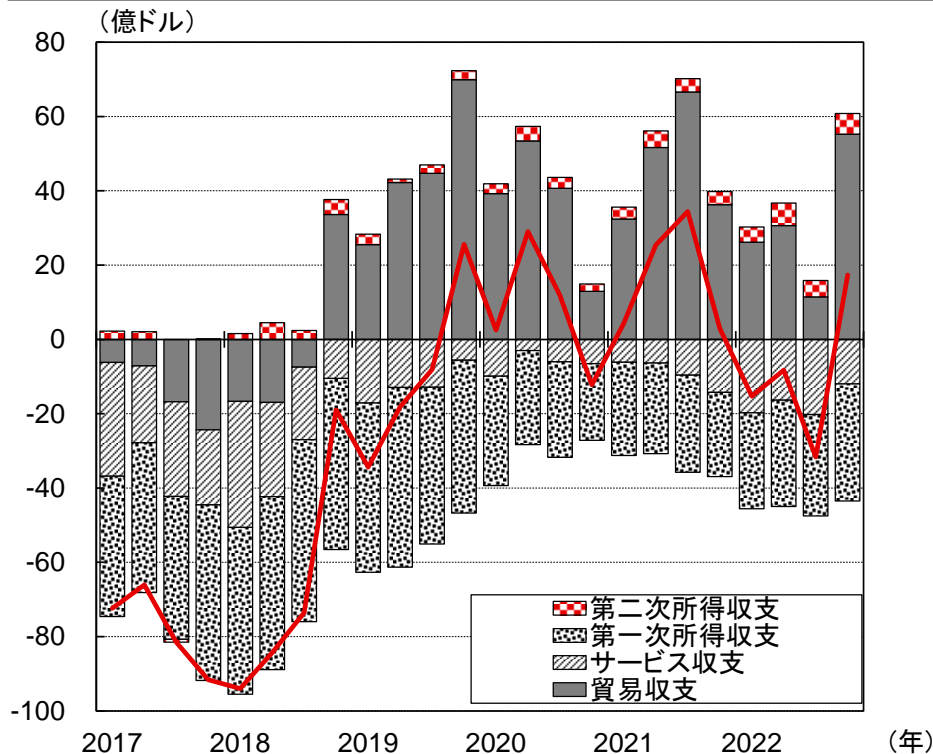


(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

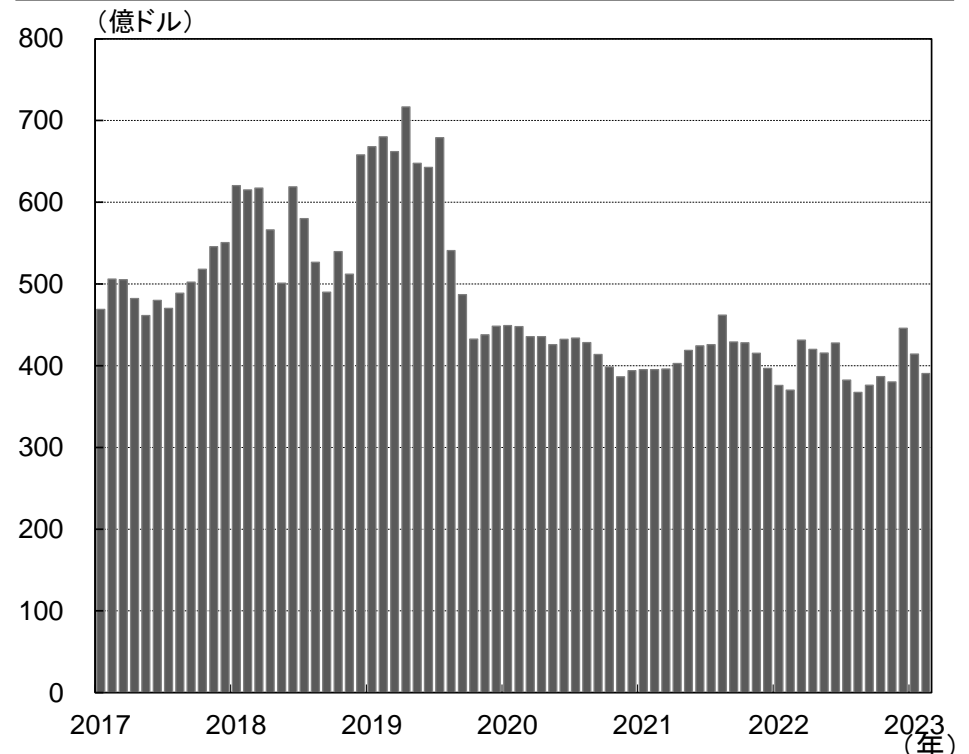
- 2022年10-12月期の経常収支は17億ドル(前年同期比+14億ドル)と黒字幅を拡大。貿易収支が55億ドル(同+19億ドル)と黒字幅を拡大させたほか、サービス収支が▲12億ドルと赤字幅を縮小。一方、第一次所得収支は▲31億ドルと赤字幅を拡大。
- 2月末時点の外貨準備高は390億ドルへ減少。IMFの拡大信用供与措置(EFF)による支援については、2022年末までに約198億ドルの融資を実施済み。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

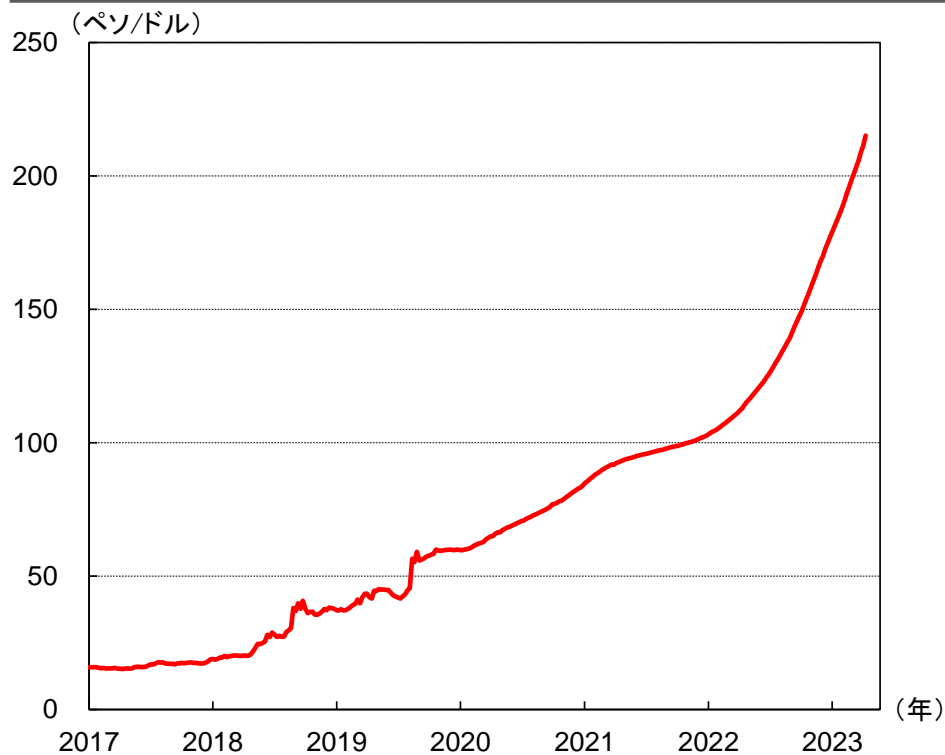


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (3) 金融市場

- アルゼンチンペソの対ドル相場は、足元1ドル=200ペソを上回る水準まで下落。
- 株価(メルバル指数)は、280,000ポイント台まで上昇。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2020	2021	2022	22/1-3	4-6	7-9	10-12	22/12	23/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲9.9)	(10.4)	(5.2)	(6.0)	(7.1)	(5.9)	(1.9)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(▲7.1)	(17.1)	(4.4)	(3.6)	(7.9)	(5.7)	(0.5)	(▲2.6)	(6.7)	(▲1.4)	—
建設活動指数(前年比、%)	(▲18.7)	(53.4)	(3.7)	(1.3)	(12.0)	(5.8)	(▲4.3)	(▲10.6)	(2.6)	(▲6.3)	—
自動車生産台数(千台)	257	435	537	105	139	150	143	37	27	46	61
自動車販売台数(千台)	313	334	376	79	102	93	102	34	22	30	38
失業率(%)	(11.6)	(8.8)	(6.8)	(7.0)	(6.9)	(7.1)	(6.3)				
消費者信頼感指数	40.3	38.0	36.9	38.8	37.0	36.3	35.6	35.9	38.5	36.2	38.2
消費者物価上昇率(前年比、%)	(40.4)	(50.9)	(92.0)	(52.8)	(61.0)	(77.6)	(91.8)	(94.8)	(98.8)	(102.5)	(104.3)
輸出(FOB)(億ドル)	549	779	884	194	250	229	212	61	49	52	57
(前年比、%)	(▲15.7)	(42.0)	(13.5)	(25.7)	(25.3)	(▲0.2)	(8.0)	(▲7.1)	(▲11.2)	(▲18.8)	(▲22.2)
輸入(CIF)(億ドル)	424	632	815	168	220	217	157	50	54	50	68
(前年比、%)	(▲13.8)	(49.2)	(29.0)	(37.6)	(48.4)	(33.5)	(▲2.0)	(▲19.3)	(2.2)	(▲10.7)	(▲4.2)
貿易収支(億ドル)	125	147	69	26	31	11	55	11	▲4	2	▲11
対外準備(億ドル)◎	394	397	446	431	428	376	446	446	414	390	391
ベースマネー(億ペソ)◎	24,703	36,540	52,038	35,138	39,819	40,990	52,038	52,038	53,167	52,200	53,695
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	37,618	53,574	90,756	58,357	68,953	77,770	90,756	90,756	94,722	99,484	—
(前年比、%)	(33.2)	(42.4)	(69.4)	(47.1)	(61.2)	(66.6)	(69.4)	(69.4)	(74.0)	(77.5)	—
経常収支(億ドル)	31	67	▲38	▲15	▲8	▲32	17				
対米ドル為替相場◎	84.07	102.69	177.11	110.99	125.22	147.32	177.11	177.11	186.87	197.16	208.99
株価指数(メルバル指数)◎	51,226	83,500	202,085	90,960	88,450	139,115	202,085	202,085	253,549	247,459	245,716

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
並木 馨子 keiko_namiki@iima.or.jp